

製品名: HDAC4 (14G14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11946**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	119kDa

抗原情報

遺伝子名	HDAC4
別名	Histone deacetylase 4; HD4; HDAC4; AHO3; BDMR;
遺伝子 ID	9759.0
SwissProt ID	P56524
免疫原	ヒト HDAC4 の組み換えタンパク質

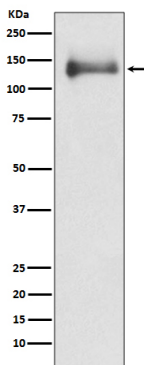
背景

コアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) の N 末端部分のリジン残基の脱アセチル化を担う。ヒストンの脱アセチル化は、エピジェネティック抑制のタグを与え、転写調節、細胞周期の進行、発生イベントにおいて重要な役割を果たしている。ヒストン脱アセチル化酵素は、大きな多タンパク質複合体の形成を介して作用する。MEF2A、MEF2C、MEF2D などのミオサイトエンハンサー因子との相互作用を介して筋肉の成熟に関与している。コアヒストン (H2A、H2B、H3、H4) の N 末端部分のリジン残基の脱アセチル化を担う。ヒストンの脱アセチル化は、エピジェネティック抑制のタグを与え、転写調節、細胞周期の進行、発生イベントにおいて重要な役割を果たしている。ヒストン脱アセチル化酵素は、大きな多タンパク質複合体の形成を介して作用する。MEF2A、MEF2C、MEF2D などの筋細胞エンハンサー因子との相互作用を介して筋成熟に関与する。乳がんにおいて、MTA1 を介した ESR1 発現のエピジェネティック制御に関与する。HSPA1A および HSPA1B の Lys-77 を脱アセチル化し、共シャペロン STUB1 への優先的な結合を誘導する (PubMed:27708256)。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



Hela 溶解物中の HDAC4 発現のウェスタン プロット分析。